



エコアクション21[®]
認証番号 0010581

株式会社日恵製作所

2024年度環境経営レポート

(対象期間 : 2024年3月21日 ~ 2025年3月20日)



作成日 : 2025年4月30日

□目次

ページ

- 1 表紙
- 2 □目次
- 3 □ごあいさつ
□環境経営方針
- 4 □組織の概要
- 5 □認証・登録の対象組織・活動
- 6 □主な環境負荷の実績
□環境目標及びその実績(全社)
□拠点ごとの実績
 - ・本社
- 7 拠点ごとの実績(続)
 - ・東京営業所
 - ・名古屋営業所
 - ・福岡営業所
- 8 □環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取り組み内容
- 9 □環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
□代表者による全体の評価と見直し・指示
□環境活動の紹介

□ごあいさつ

当社は1981年の設立以来培ってきた知識・経験に、日々進化し続けるIT技術・情報を取り入れて「小さな技術革新」の積み重ねによってより高品質で付加価値の高い「モノづくり」を目指しております。

高まる地球環境保全の重要性も深く理解し、地下資源の節約に貢献できる長寿命製品の開発により一層の努力をすると共に、資源の節約にも積極的に取り組み、皆様にご満足いただける会社を目指す所存でございます。

株式会社日恵製作所
代表取締役 恩田 恵

環境経営方針

当社は、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識に立ち、電子機器等の製造・販売の事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組み、地域社会の発展に貢献すると同時に社会から一層信頼される企業を目指します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します
2. 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます
3. 廃棄物の削減及び再生利用に取り組みます
4. 水道水の節約に取り組みます
5. 化学物質の適正管理に取り組みます
6. 環境に配慮した製品の開発・販売促進に取り組みます
7. 環境に配慮した資材の購入・調達を推進します
8. 環境経営の継続的改善に努めます

この方針を全社員に周知し、環境への取り組みを環境経営レポートとして取り纏め公表します

制定日： 2014年6月20日
改訂日： 2023年5月17日
代表取締役 恩田 恵

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社日恵製作所
代表取締役 恩田 恵

(2) 所在地

本社/工場 大阪府門真市桑才新町33-9
第二工場 大阪府門真市桑才新町9-1
東京営業所 東京都江東区富岡2-6-6
名古屋営業所 愛知県名古屋市北区若葉通3-19 谷口ビル1F
福岡営業所 福岡県福岡市博多区豊2-4-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 営業本部 部長 勝部 俊行 TEL:06-6908-6930
担当者 総務課 林 勲 TEL:06-6908-6930

(4) 事業内容

電子応用機器製造販売
主要製品:LED回転灯・表示灯及びアミューズメント機器

(5) 事業の規模

製品出荷額 12 億円 (2023年度)

	本社	東京(営)	名古屋(営)	福岡(営)	合計
従業員	60	6	3	2	71
延べ床面積	3,002	338	46	140	3,526

※本社に第二工場含む、但し第二工場は常勤者無し

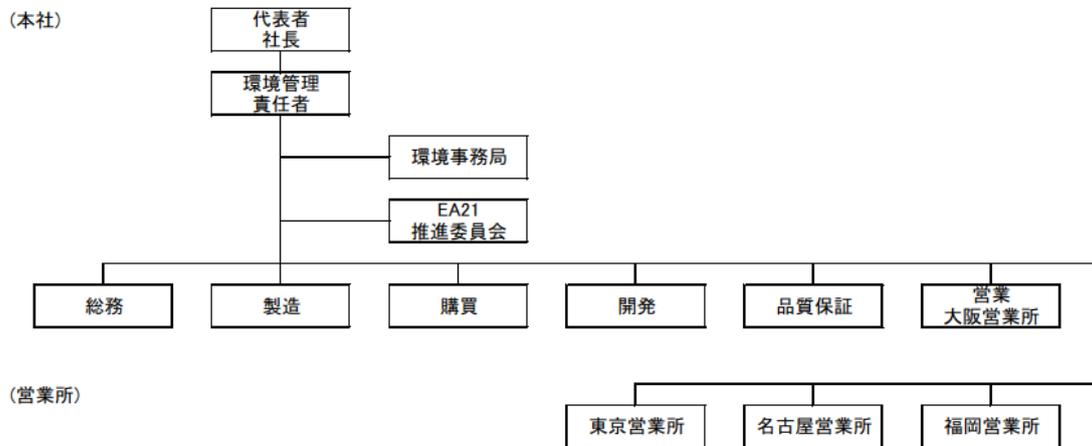
(6) 事業年度

3月21日～3月20日

□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名： 株式会社日恵製作所
 対象事業所： 本社/工場・第二工場及び東京・名古屋・福岡各営業所
 活動： LED回転灯・表示灯及びアミューズメント機器の製造・販売

組織図



組織の役割・責任・権限

代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命、責任及び権限を定め、各自の役割を全従業員に周知 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認 全体の評価および課題とチャンス进行明確化し、環境管理責任者に必要な指示を出す 環境経営レポートの承認 実施体制の構築 経営資源を用意をする
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 【環境管理責任者・環境事務局・各部門長により構成】 環境目標、環境活動計画の承認 環境活動の実績確認
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	113,434	115,352	101,325
電力の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	86,929	88,659	76,734
燃料の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	26,505	26,693	24,591
廃棄物排出量	kg	14,231.9	12,884.9	15,371.9
一般廃棄物排出量	kg	9,701.9	8,934.9	9,881.9
産業廃棄物排出量	kg	4,530.0	3,950.0	5,490.0
水使用量	m ³	995	1,078	1,522

※電力の二酸化炭素排出量換算値(kg-CO₂/kWh)

拠点	使用電力会社	基礎排出係数(R6年度)
本社	新出光	0.403
東京営業所	出光グリーンパワー	0.260
名古屋営業所	中部電力ミライズ	0.433
福岡営業所	新出光	0.403

※各電力会社に確認済

□環境目標及びその実績(全社)

項目	年度	基準値 (基準年度)	2024年		2025年	2026年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	100,772	88,910	76,734	86,919	85,858
	基準年比 2015年		88%	76%	86%	85%
自動車燃料等による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	78,068	48,906	24,591	47,879	46,695
	基準年比 2015年		63%	31%	61%	60%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	178,840	137,816	101,325	134,798	132,553
電力消費の削減	kWh	190,374	195,931	196,279	188,715	186,313
	基準年比 2015年		103%	103%	99%	98%
ガソリン消費量の削減	l	33,626	21,065	10,565	20,623	20,113
	基準年比 2015年		63%	31%	61%	60%
一般廃棄物の削減	kg	10,336	9,552	9,882	9,449	9,441
	基準年比 2015年		92%	96%	91%	91%
産業廃棄物の削減	kg	14,700	6,615	5,490	6,615	6,615
	基準年比 2015年		45%	37%	45%	45%
水道水の削減	m ³	1,255	1,152	1,522	1,147	1,133
	基準年比 2015年		92%	121%	91%	90%
グリーン購入の推進	チェックリストによる購入推進	60%以上	60%以上	60%以上	60%以上	60%以上
製品・サービスへの環境配慮 (注1)	万円	73,985	81,384	72,845	89,522	98,474
	前年比 2023年		110%	98%	110%	110%

(注1) LED採用モーターレスの産業用(アミューズメント機器は除く)製品の販売額

本社

項目	年度	基準値 (基準年度)	2024年		2025年	2026年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	81,145	77,088	68,021	75,465	74,654
	基準年比 2015年		95%	84%	93%	92%
自動車燃料等による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	27,152	20,635	10,452	20,364	20,092
	基準年比 2015年		76%	38%	75%	74%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	108,297	97,723	78,473	95,829	94,746
電力消費の削減	kWh	152,816	160,300	168,786	154,959	153,293
	基準年比 2015年		105%	110%	101%	100%
ガソリン消費量の削減	l	11,695	8,888	4,502	8,771	8,654
	基準年比 2015年		76%	38%	75%	74%
一般廃棄物の削減	kg	9,688	9,204	9,699	9,107	9,107
	基準年比 2015年		95%	100%	94%	94%
産業廃棄物の削減	kg	14,700	6,615	5,490	6,615	6,615
	基準年比 2015年		45%	37%	45%	45%
水道水の削減	m ³	957	900	1,383	900	890
	基準年比 2015年		94%	145%	94%	93%
グリーン購入の推進	チェックリストによる購入推進	60%以上	60%以上	60%以上	60%以上	60%以上
製品・サービスへの環境配慮	万円	73,985	81,384	72,845	89,522	98,474
	前年比 2023年		110%	98%	110%	110%

東京営業所

年度 項目		基準値 (基準年度)	2024年		2025年 (目標)	2026年 (目標)	
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	11,822	5,674	4,535	5,438	5,320	
	基準年比	2015年	48%	38%	46%	45%	
自動車燃料等による二酸化炭素削減	kg-CO2	15,632	10,942	2,921	10,630	10,317	
	基準年比	2015年	70%	19%	68%	66%	
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	27,454	16,617	7,456	16,067	15,637
電力消費の削減	kWh	23,409	22,428	17,444	21,494	21,026	
	基準年比	2015年	96%	75%	92%	90%	
ガソリン消費量の削減	l	6,733	4,713	1,233	4,578	4,444	
	基準年比	2015年	70%	18%	68%	66%	
一般廃棄物の削減	kg	288	164	116	161	158	
	基準年比	2015年	57%	40%	56%	55%	
水道水の削減	m ³	148	136	85	135	133	
	基準年比	2015年	92%	57%	91%	90%	

名古屋営業所

年度 項目		基準値 (基準年度)	2024年		2025年 (目標)	2026年 (目標)	
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	2,456	2,260	1,848	2,211	2,161	
	基準年比	2015年	92%	75%	90%	88%	
自動車燃料等による二酸化炭素削減	kg-CO2	13,029	7,166	5,983	7,036	6,905	
	基準年比	2015年	55%	46%	54%	53%	
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	15,485	9,426	7,831	9,246	9,067
電力消費の削減	kWh	4,942	5,219	4,269	4,448	4,349	
	基準年比	2015年	106%	86%	90%	88%	
ガソリン消費量の削減	l	5,612	3,087	2,576	3,030	2,974	
	基準年比	2015年	55%	46%	54%	53%	
一般廃棄物の削減	kg	84	57	35	56	55	
	基準年比	2015年	68%	41%	67%	66%	
水道水の削減	m ³	30	20	17	20	19	
	基準年比	2015年	68%	57%	65%	63%	

福岡営業所

年度 項目		基準値 (基準年度)	2024年		2025年 (目標)	2026年 (目標)	
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	4,136	3,888	2,329	3,806	3,723	
	基準年比	2015年	94%	56%	92%	90%	
自動車燃料等による二酸化炭素削減	kg-CO2	15,634	10,162	5,235	9,849	9,380	
	基準年比	2015年	65%	33%	63%	60%	
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	19,770	14,050	7,564	13,655	13,103
電力消費の削減	kWh	7,083	7,984	5,780	7,814	7,644	
	基準年比	2015年	113%	82%	110%	108%	
ガソリン消費量の削減	l	6,734	4,377	2,254	4,242	4,040	
	基準年比	2015年	65%	33%	63%	60%	
一般廃棄物の削減	kg	240	127	33	125	120	
	基準年比	2015年	53%	14%	52%	50%	
水道水の削減	m ³	120	96	37	94	91	
	基準年比	2015年	80%	31%	78%	76%	

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標達成度：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた(120%以上) ○まあまあできた(100%~120%)

△あまりできなかった(100%~80%) ×全くできなかった(80%以下)

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標達成度	○	・再生可能エネルギー主体の電力会社切替実施 ① 新出光 本社 2017/3月/福岡(営) 2017/5月 ② 出光グリーンパワー 東京(営) 2017/5月 ・2025年度前年比2%削減目標の継続
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房26℃)	◎	
・不要照明の消灯	◎	
・空調を必要な区域・時間に限定	◎	
・クールビス・ウォームビスの実施	○	
・屋上の遮熱塗装	○	
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標達成度	○	・営業車リース契約更新時に、ハイブリッド車への切替実施。 本社(2017年/4月、8月、9月、2022/3月 各1台) 名古屋(営)(2018/2月、2020/9月 各1台) 福岡(営)(2016/9月、2019/8月 各1台) ・2025年福岡営業人員削減により車両1台減につき全体では基準年比60%以下を目指す。
・社用車の定期点検の実施	○	
	◎	
一般廃棄物の削減		
数値目標達成度	×	・本社工場稼働率アップなど廃棄物の増加に影響 ・2025年度は前年比2%減を目標とする。
・ゴミの分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・回収した資源ごみのリサイクル確認	○	
・3S活動の実施	○	
産業廃棄物の削減		
数値目標達成度	○	・2015実績比 37%・2025年度も同レベル以下を目指す ・2025年度も同レベル以下を目指す。
・加工ロスの削減	○	
・クレーム発生の撲滅	○	
・収集運搬業者・中間処理業者との契約	◎	
水道水の削減		
数値目標達成度	×	・2015実績比 121%と水道水利用料が大幅に増加。 本社漏水検査等行うも根本原因が判明せず。 ・2025年度は使用量増加の真因調査継続するとともに、2024年を基準として前年比3%以上の削減を目指す。
・自動水栓取り付け	○	
・手洗い・洗い物の際の節水励行	△	
・自動水栓取り付け	○	
グリーン購入の推進		
・グリーン購入対象品のリスト作成	○	目標値達成
・事務用品グリーン購入比率向上	—	
・コピー紙の再生紙活用	○	
製品・サービスへの環境配慮		
数値目標達成度	×	・産業用新製品の導入が出来なかった事など厳しい年であったが、後半には万博向け特注商材の受注などで挽回を図った。 年間では大目標の前年2桁成長は達成できなかったが、後半では復調。 ・2025年度も前年比2桁成長の大目標で販売推進する。
・LED採用/モーターレスという長寿命商品の更なる充実	◎	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ等)、水銀使用製品(蛍光灯)
浄化槽法	浄化槽設備の定期点検(年1回)
フロン排出抑制法	業務用空調機 30台、自主点検 1回/3ヵ月
家電リサイクル法	家庭用エアコン 4台
自動車NOx・PM法	小型トラック 1台
消防法	消防設備の定期点検(年1回)

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、関係当局よりの違反の指摘・訴訟等は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

2025/4/1

・2016年度からは、エコアクション21の取り組みを全社展開し、環境に優しい製品の供給と、会社活動による環境負荷の削減に努めてまいりました。

・2017年度からは、営業車のハイブリッド化によるガソリン消費の削減、再生可能エネルギー主体の電力会社への切り替えなど、環境負荷軽減に取り組みました。

・2025年度については、環境方針・実施体制については、見直しの必要は無いと考えるが、ゴミの廃棄・水道使用量の元数値の見直しを行いたい。

・全社蛍光灯のLED化を2025年度には実現し、本社の空調設備の省エネ機器への切り替えも踏まえて検討し、電力削減に寄与したい。

・水道使用量については毎月の流れを監視し、異常を把握します。

・また、環境に優しいLED商品の開発に一層の注力をしていきます。

・コロナによる内外の制限の緩和が進む中、顧客訪問も細心の注意を払いながら頻度・濃度を高めながら、全社をあげて2025年度の新たな目標に向けて活動を継続してまいります。

□環境活動の紹介

環境に優しい、電球もモーターも使用しない当社のエコ商品群をご紹介します

